

【問い】20代から飛蚊症が現れ、10年前から両眼球が痛むことがあります。2年前から視力が落ち、物が二重に見えます。医師は乱視によるものと言いますが、最近サギングアイ症候群を知りました。どのような対策があるのか教えてください。(77歳、男性)

サギングアイ症候群



木村亜紀子医師

斜視の矯正眼鏡や手術を

【答え】物が二重に見えるとのことですが、片目だけで見て二重に見えるのなら、それは乱視によるものです。眼鏡やコン

いたため、適切に診断されないことがあります。外見上目立たない斜視が、眼球を動かす筋肉「外眼筋」の加齢性変化で起きることが最近分かかってきました。目の周りは加齢の影響が表れやすく、まぶたが下がる、目がくぼむ、目が小さく見えるようになる、などの

外眼筋には目を水平方向と上下方向に動かす4本の「直筋」と斜めに動かす2本の「斜筋」があり、「プリー」と呼ばれる結合組織に支えられています。目を外側に向ける外直筋が下方にたるむと、外直筋と目を上に向ける上直筋のプリーが断裂したり、たわんだりします。この変

で、必ず専門の施設で原因を探ってください。治療は斜視を矯正するプリズム眼鏡を用いた方法や斜視手術などがあります。診察を受けて最も良い方法を選択してください。
(兵庫県医師会、木村亜紀子
川西市、兵庫医科大学病院眼科准教授)

◇第1、3、4日曜に掲載します。

タクトで治療します。しかし、片目ずつでは一つだけけれど、両目では二重に見える「複視」という状態の場合は、視線のずれである「斜視」が原因です。わずかな上下斜視や内斜視は複視の原因になりますが、外見上、視線のずれはほとんど分からない

変化が見られます。これらは筋肉のたるみで生じますが、同じような加齢性変化が外眼筋に生じ、複視を起こすのが「加齢性斜視」つまりサギングアイ(Sagging eye)症候群です。Saggingは「たるむ」「垂れ下がる」という意味です。

化が両眼に生じるとわずかな内斜視に、片眼に生じた場合はわずかな上下斜視となります。診断にはMRIなどの画像検査が必要で、ただし、斜視の原因には、重症筋無力症や脳腫瘍など重篤な疾患が潜んでいることもあるの